

名護市学校施設長寿命化計画の変更について(令和7年12月改訂)

【変更内容】

- 1 「名護市学校施設長寿命化計画(令和5年3月改訂)」について、内容の一部を下記のとおり変更する。

下記①、②、④について、「名護市立幼稚園の今後の取組みについて(方針)(令和7年8月)」により、真喜屋幼稚園については令和7年度に解体撤去を行う。瀬喜田幼稚園及び羽地幼稚園2号棟については、令和8年度以降に解体撤去を行うものとする。

変更前(令和5年3月改訂)

- 4 下記幼稚園については、『幼稚園』の施設として長寿命化計画への位置づけはしているものの、当該施設の今後の運用方針を明確にする必要があることから計画を一旦保留とする。「名護市幼稚園の今後の在り方について(方針)」を踏まえた上で子ども家庭部及び地域力推進課と調整中であり、方針決定後に本計画を見直すものとする。

① 瀬喜田幼稚園(旧耐震基準建物・休園)

「改築」として計画したが、就園児数が減少し定数に達していない状況にあり、幼稚園としての運用を続けていくことが不明で、令和5年度は休園となっている。

② 羽地幼稚園2号棟

「長寿命化改良」として計画したが、当該幼稚園は築41年の2号棟と築20年の3号棟の2棟建てであり、就園児の減少により保育室は1室で可能なことから、2号棟で保育を行い、3号棟の2室ある内の1室は学童として使用されている状況にある(残りの1室は遊戯室として使用)。保育室や職員室で使用している古い2号棟の機能を比較的新しい3号棟に移すことができれば、幼稚園は3号棟で完結し、古い2号棟は財産処分をすることで子育て支援施設として転用が可能である。

③ 名護幼稚園5号棟

「長寿命化改良」として計画したが、当該幼稚園舎(5号棟)は余裕園舎で、学童及び子どもの家事業として幼稚園舎以外に使用された状況にある。

④ 真喜屋幼稚園(旧耐震基準建物・休園)

「部位修繕」として計画したが、休園中で学童として幼稚園以外に使用された状況にある。

⑤ 稲田幼稚園(休園)

「部位修繕」として計画したが、休園中で子どもの家事業として幼稚園以外に使用された状況にある。